

「急性脳症の早期診断のためのリスク因子の検討」

1. 研究の対象

西暦 2021 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院でけいれん重積・急性脳症の診断で受診された方

2. 研究目的・方法

急性脳症は主に感染に伴いけいれんや意識障害で発症し、後遺症を残し、時に命にかかわりうる小児期の重要な疾患です。急性脳症と熱性けいれんを発症早期に区別することは難しく、有効な治療法の開発もまだ十分ではありません。けいれん重積で入院された患者様の、臨床症状、治療内容、血液検査、髄液検査などの検体検査、脳波検査などの生理検査、頭部 CT、MRI などの画像検査を振り返ることで、けいれん重積患者と急性脳症にいたる患者にどういった違いがあるかを検討します。そのうえで早期診断の方法や、治療効果の検討を行います。

3. 研究期間

総研究期間および登録期間：承認後～西暦 2026 年 12 月 31 日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床症状、急性脳症のタイプ、重症度、治療内容、検体検査結果、画像検査、生理検査所見など。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 仙台市青葉区落合 4 丁目 3 - 1 7 TEL:022-391-5111

研究責任者：神経科 富樫紀子

-----以上